

小田原

まちづくり情報誌

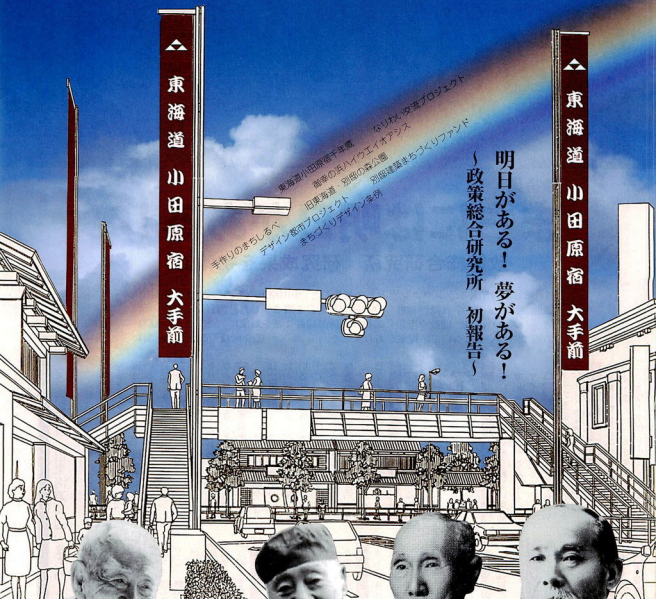


△ 東海道 小田原宿 大手前

△ 東海道 小田原宿 大手前

東海道小田原宿千年蔵
御幸の坂ハイウェイオアシス
旧東海道・別邸の森公園
別邸建築まちづくりファンド
手作りのまちしるべ
デザイン都市プロジェクト
まちづくりデザイン条例

明日がある！ 夢がある！
政策総合研究所 初報告



松永安左エ門

益田孝

山縣有朋

伊藤博文



研究報告会(後藤所長)

研究報告会(小澤市長)

●特集

まちには明日がある！

政策総合研究所 研究成果を初報告

昨年4月に自治体版シンクタンクとして誕生した「小田原市政政策総合研究所(所長:後藤春彦早稲田大学教授)」は昨年度の研究報告会を開きました。当日は、2つの研究チームから市長、助役や市議会議員、関係部局長などを対象に、たくさんの魅力あるまちづくりについての提案がありました。

企画政策課 33-1304

研究報告①

「交流の舞台・旧東海道周辺のまちづくり」

この研究では、公募の市民研究員が参画する研究グループが政策提言をまとめました。研究員が自らまち歩きをして調査し、まちに埋もれているさまざまな歴史・文化的資産を発見しました。

【研究目的は】

新しい交流の時代に東海道の役割を見つめ直し、回遊性を高めるまちなみづくりなどを研究しました。

【東海道小田原宿千年蔵】

研究グループは、「小田原らしさ」は「宿場町」の交流の中にあり、無数の資産があたかも蔵の中に眠っているまのようであると考えました。そこで、旧東海道周辺を「蔵」に見立てた「千年蔵」を基本コンセプトに、無数の歴史・文化的資産を活かし、交流を促すために次の7つのプロジェクトを提案しています。

【なりわい交流プロジェクト】

「小田原らしさ」を象徴する海・山・川の「なりわい」の資産と文化を活かそう。

3つの交流館をつくり街

たぐい博物館とネットワークさせる。

デザイン都市を目指そう。

「小田原デザインセンター」の設置や新たな「小田原ブランド」の開発。

庭園交流プロジェクト

まち全体を「庭園」と捉え、緑・水・浜といったまちの自然をネットワーク化しよう。

【たぐいは】 緑のネットワーク化や小田原用水の再生・活用で交流を促進する。

【まちをなみにつくるプロジェクト】

「古」と「小」、2つの「こ」を併せ持った「こまちなみ」をキーワードに、魅力あるまちなみを創り出そう。

【たぐいは】 「こまちなみ条例」の制定や、まちなみを表彰するような制度を作る。

【公共施設で遊ぼうプロジェクト】

公共施設を多目的に活用し、多様な企画や施設運営をすること、だれもが楽しめる交流の場にしよう。

【たぐいは】 松永記念館や文学館などを存分に楽しむ仕掛け。

【物語を歩こうプロジェクト】

まち歩きルートを物語化することにより、知的好奇心を誘い、楽しく、快適に歩けるような環境を創り出そう。

【たぐいは】 北原白秋をモチーフに物語ルートを設定し、そこに「まちの歩き」を設置。回遊パスの運行「御幸の浜ハイウェイオアシス」の設置によって、回遊性を高める。

【まちづくりを楽しむプロジェクト】

これから住民自らがまちをデザインし、主体的に参画していく。情報発信する。「まちづくり研究所」で総合的にプロジェクトをまちを遊び、学が仕組みとしての「東海道遊学塾」の開発。



まち歩き調査



まち歩き調査



松永記念館

研究所ホームページオープン

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/prio/index.html>

研究報告 2

「20世紀遺産・別邸建築などの保存と活用」

古き良き建物や生活文化を見直し、まちづくりに活用しようという意識が高まっています。別邸建築ワーキングチームは、板橋、南町、国府津の3地区でまちなみを調査し、新しい保存・活用の手法や仕組みを研究し報告しました。



小田原文学館



小田原用水

「別邸建築などをとりまく問題点」

伝統技術・意匠が優れ、文化財としての価値が高い反面、維持管理に課題が多く、存続が困難になる例が見られます。これまで、国や市によって、価値ある建造物の保存が図られてきたし

「保存から活用へ」

たが、まちづくりに活用しようとする取組は十分だったとは言えません。また、市民にも、保存・活用に向けた意識が十分に浸透していませんでした。

「保存から活用へ」
魅力を活かすために、2つの転換が必要であると示されました。
建造物を保存するだけでなく、多くの人に活用される価値を見いだすこと。学術的な価値だけでなく、まちづくりにおける価値を創造していくこと。



「活用からまちづくりへ」

建造物の「点」としての価値だけでなく、まちなみという「面」の中での価値を見いだし、活用すること。都市の記憶の結まいた建物、都市デザインに活かすこと。

「提言」市民参加で持続的な取組を、小田原らしい活用を進めよう

市民や企業の協力を仰ぎ、民間主導型の取組めへと誘導する。行政が関与する際には、評価の基準を明らかにしておく。

活用のための計画をつくる
実態調査と評価により、活用に向けた計画をまとめる。その際は、周辺のまちなみづくりも踏まえて検討する。

まちづくりに活かす制度を考えよう
市の関係施策を整理し、歴史的建造物の保存・活用に向けた総合条例として再編成する。

活用を市民の手で進めよう
市民参加型の推進組織を編成するなど、新しいコミュニティづくりを促す。

総行政として取組もつ
行政各分野が相互に連携し、総合的に取組む。他都市と連携する。

提言の具体化に向けて

「研究報告書を基に庁内や市民の間で大いに議論し、投げかけられたボールをしっかりと投げ返してほしい」と後藤所長。それを受けて市長は「市民や市議会の理解を得ながら必要な調査・調整を図り、提言の具現化に向けた検討を進めていく」と結びました。



生命の源 「空」と「水」を未来へ



生命の星・地球の存続をおびやかす様々な環境問題が深刻化しています。

環境問題は、将来の世代にわたる問題であり、私たち全員が、被害者であり、加害者でもあります。

私たちの子孫のため、地球の未来のために、小田原市は、環境先進都市として「ビジョン21おだわら」や「環境基本計画」にもとづき、さまざまな施策を強力に推進しています。

◎環境保全課 電話 33 1 4 8 1



空を見上げよう

小田原の空は比較的清いといえます。しかし、このままエネルギー消費が増え続けると、空気が汚れてしまいます。

そこで、本市ではノーカーデーやアイドリング・ストップなどの運動を進め、低公害車の導入やソーラー発電などのクリーンエネルギーの活用を推進しています。

未来を先取り 小田原市

環境にやさしい低公害車
100台が市内を快走中！
小田原の空を少しでもきれいに！
市では、他市に先駆けて、低公害車（①電気②天然ガス③メタノール④ハイブリッド）の普及を促進しています。

その結果、「小田原市低公害車普及促進計画平成9年度策定」の短期目標「平成14年までに100台導入」を2年早く達成することができました。



次は、長期目標の平成23年以降に1万台の普及に向けて、さらに取り組みを進めています。

●小田原市低公害車普及促進会議の活動
市民、事業者、市が一体となり、低公害車体験試乗会の開催など普及活動を行っています。

●公用車への率先導入

市では、平成13年3月末現在、14台電気9台、ハイブリッド5台導入しています。
※本年度は、天然ガス自動車6台導入予定
●購入費用の補助制度などのご利用を

低公害車を購入・リースされた方は、導入費用の一部補助や、市営栄町駐車場の駐車料金が1時間減免されます。



●電気自動車（RAV4 LEV）の試乗もできます。

●エコ・ステーション（エネルギー供給施設）も整備されています。

・電気自動車用充電施設／ダイナシティウエスト立体駐車場（2階）
・天然ガス自動車用充てん施設／南郷宮地区（8月末完成予定）



水

特例市として監視・指導
市では特例市への移行により、水質汚濁防止法の事務を行っています。これにより、市内の川の水質をよ

●環境保全課 電話 33 1 4 8 2

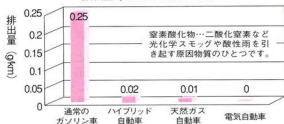
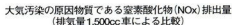
りきめ細かく監視し、海の水質についても国府津沖、小田原沖、そして根府川沖の3地点で調査を行っています。また、御幸の浜、江ノ浦の2つの海水浴場の水質調査も行います。工場などについては、立入調査を定期的に、排水の調査と指導を行っています。

●環境保全課 電話 33 1 4 8 2
●命の源 水を守れ 河川水質調査結果
小田原には大小の川が流れ、私たちの生活に欠かせない、豊かな恵みをもたらしています。

これらの川は、下水道の普及や工場排水への規制を強めたことで、以前に比べると、ずいぶんきれいになりました。汚れの主な原因は生活排水だとはいわれています。台所の生ゴミや油を流さない工夫をしましょう。また、川に捨てられた農薬が、魚に被害を及ぼす事故が多く見受けられます。農薬などを川に流すと不法投棄になります。

小田原市の環境への取り組みが評価されています

- 平成 9 年 10 月…市民の皆さんと一体となった快適な環境づくりが「アムニティあるまちづくり優良地方公共団体環境行政表彰」を受賞
- 平成 10 年 12 月…低公害車及び取組みが「地球温暖化防止活動大巨表彰(低公害車部門)」を受賞
- 平成 11 年 12 月…「小田原市環境基本計画・環境行動計画」が日本計画行政学会第 5 回「計画賞」を受賞
- 平成 13 年 4 月…40 年もの水きおよび語句の日本水き係全賞の活動が第 3 回「日本水大賞」奨励賞を受賞



二酸化窒素濃度の経年変化

年度	9	10	11
小田原市役所	0.038	0.036	0.033
県内最低値	0.034	0.033	0.026
県内最高値	0.068	0.073	0.065

年度	9	10	11
市民会館	0.047	0.046	0.041
県内最低値	0.047	0.046	0.041
県内最高値	0.082	0.086	0.079

環境基準：0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、またはそれ以下であること。

①大気環境調査結果
県内には87の常時監視測定局がありま
す。内訳としては、生活環境における大
気汚染を測定する一般環境大気測定局
(57局)と、主要道路沿道の大気を測定
する自動車排出ガス測定局(30局)で
す。

二酸化窒素濃度などの測定をしていま
す。

②タイオキシンの類調査結果
県では、県下28地点の定点で、年4回の大気常時監視を実施しています。市内では、市役所で実施されました。また、本市でも、独自に昨年度から消防本部で調査を開始しました。

いずれの調査結果も、環境基準値を下回っていました。



大気中のダイオキシン類調査結果

(単位: pg-TEQ/m)					
調査地点	第1回目 (5月)	第2回目 (8月)	第3回目 (11月)	第4回目 (2月)	平均
市消防本部	0.16	0.093	0.10	0.14	0.12
小田原市役所本庁舎	0.12	0.15	0.10	0.14	0.13
環境基準	0.600-TEQ/m以下				



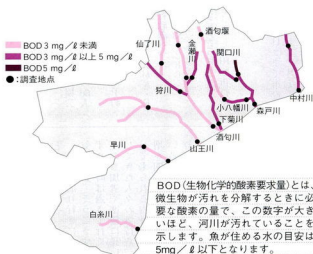
市の魚を育てよう
メダカのお父さん、
お母さんを **募集!**

◎環境保全課 ☎ 33-1481

育てるのは、いたって簡単。飼育指導員からのアドバイスもありますよ。

○応募条件 市内在住、在勤、在学の方で、「小田原めだちのお父さんお母さん制度」の4つの約束（大切に育てる、勝手に捨てたり放流したりしない、他の種類の魚と一緒に飼育しない、人に譲らない）を守れる方。ただし、一世帯につき1申込みまで。年齢不問。中学生以下は、成年者の承諾が必要。（多数抽選）

○申込方法 はがきに、郵便番号、住所、氏名、年齢、勤務先または学校名、電話番号を書いて郵送
○申込 6月20日(水)までに(必着)、〒250-8555
小田原市役所環境保全課「小田原メダカ係」



平成12年度
河川水質調査結果BOD平均値

おとこの不満! おんなの不満!

「男だから強く」「男だから妻子を養う」とか「女はおしとやかに」「女は家事と育児」というように性によって差別して考えることがあって、そのことによって個性が認められなかったり、役割が決められてしまうことが日常の中にあります。だから、性別による「役割」を取り払い、男女にかかわらずだれもが自分らしく生き生きと暮らしていける本場に豊かな社会を創っていくことが必要です。㊟女性行政課 ☎33-1725



今年からスタート 「男女共同参画週間」

国では、少子高齢化、経済情勢の急速な変化に対応するために平成11年に男女共同参画社会基本法を公布・施行しました。

この日にちなんで、今年から6月23日から29日の1週間を「男女共同参画週間」としました。

この週間は、男女共同参画に関わる認識を深め、職場・家庭・地域におけるさまざまな習慣・慣行を「ジェンダー」の視点で見直しを進めるための広報・啓発活動をする機会の一つとして、「男女共同参画基本計画」に位置づけられています。本市でもこの週間に合わせて、ビデオフォーラムやパネル展示などを開きます。

ジェンダーとは「生まれたときから備わっていた性ではなく、「男らしさ」「女らしさ」といったように、性格や生き方、行動など社会の中で決めつけられた性的こと。

男女共同参画社会に向けた取り組み

男女共同参画基本法では、国の責務、地方公共団体の責務、国民の責務が規定されていますが、国では、平成12年に「男女共同参画基本計画」を策定しました。

市町村は、基本的な計画を定めるように努めなくてはならないという努力義務になっていますが、本市では、男女共同参画を推進するための基本計画として、平成3年には最初の計画を策定し、平成11年3月には、「おだわら女性ビジョン」に改定しました。

現在、このビジョンに基づいて、男女共同参画型社会づくりに向け、地域フォーラム、講演会、女性カレッジ、情報紙「おだわらの風」の発行などさまざまな事業を進めています。

なにより、男女共同参画社会の形成は、国や地方公共団体だけでなく、市民のみならずと連携を深め、地域で推進することが望まれます。



募集 ビデオフォーラム！ みんなで考えよう！

人生経験豊富な人、これからの時代を担う若い人、子育て中のお父さん、お母さんなど、幅広い市民のみならずと一緒に、ビデオを視聴し、どんなことが生活の中で、男性問題・女性問題となっているのかなど考えてみよう。

日時 6月23日(土)14時～16時

場所 マロニエコートエントー

コディネーター 群馬県市女性協会
定員 市内在住・在勤・在学の方60人
先着順

託児 2歳以上就学前まで(予約制・おやつ代100円)

申込 電話・ファクス・はがき・Eメールで女性行政課へ

☎33-1725 33-1286

E-mail jisei@city.odawara.kanagawa.jp

〒250-0805 小田原市役所女性行政課

6月25日(月)29日(金)まで市役所2階展示ロビーで、男女共同参画に関するパネル展示や情報提供、女性団体の活動状況などの掲示があります。



市長随想

『武者行列』雨天決行 決断のテンマツ

文 小澤長明

五月三日「北條五代祭り」の朝、夜来の雨を気にしながら、いつものように新聞に目を通していた私に突然電話がかかった。心配で前日から気象庁の最新予報データを手に入れた、朝七時限り一番強い降りでの後順次小降りになり昼前に止む、と半ば安心していただけに、予報が一夜にして変わり、夕方までのこの調子で降り続けるようだとの連絡である。早朝から集まった関係者もこの難しい状況に議論が分かれ、むしろ全面中止との声が大勢で、最終判断を私に求めた。この事であらう。

思わぬ成り行きにガク然として気迷う私。そうこうする内にいたずらに時は過ぎて行く。二千人以上の参加者や準備に長い間汗を流して来た人々の気持ち、楽しみにして来られる内外の観客さん、売上増を期待している商店の皆さん。いろいろと心がいつべんに頭に浮んでカッと身体中が熱くなるような思いの中で、「式典会場も水びたした。無理か。どうしますか?」「催促の声が大きく響く。延期は無か、中止か決行かだけだ。既に七時決定とのタイムリミットを十数分も過ぎてしまっている。無情に降り続ける薄暗い雨空を見上げながら、「ダメか。」、九十％心を決めかけた。受話器の向うからはあちこちからの問い合せ電話に忙しう対応する声や甲論乙駁する関係者のざわめきが小さく小

全国各地の

「小田原ファン」

ひょうりょう 小田原評定衆

活躍中!!

小田原の歴史が生んだ言葉を生かし、
まちをPRしていこうと「小田原評定
衆」のみならず小田原の情報や魅力を
全国各地で発信していただいています。

市民交流課 〒331-706

「小田原評定衆」ってどんな人？

・審議会の委員や講演会、講師をした。
・小田原を訪れてから小田原のことが好きになった。
・小田原、原則として市外にお住まいの「小田原ファン」の皆さん170数人にお集まりです。北は北海道から南は九州、四国、そして海外ではオーストラリア、ドイツ、フィンランドにお住まいの方もいらっしゃいます。

評定衆の中には、過去に広報おたわらで紹介した湯田川いずみさん(音楽評論家・作詞家)、湯田川和雄さん(フルート奏者・小田原室内楽団団長)、石川雄規さん(フロッグス)、佐藤ルミさん(格闘家)、合田昭マルベリー・チェンバークワイヤの指揮者、原妙子さん(イラストレーター)もいます。

外から見た小田原ってこんなところ！

「評定衆アンケートより」

評定衆からいただいた意見では、小田原の魅力は、「海・山・川」「温暖な気候」「歴史と伝統」「城・城下町」「交通の便の良さ」など。また、「おだやかでゆとり」「落ち着いた」「まちづくりに関心がある」「人柄や人々の動きに」関しても評価があり、「うらやましい」との声も。しかし、「その良さを市民自身が十分理解していない」「また「その魅力を外に発信できていないのでは」という指摘もありました。駅周辺の活性化、現代の小田原文化の発信拠点や交通面での整備、すまぐめなど、豊かな自然を守り、歴史・伝統文化を大事にしている、というところが、小田原に対する期待として浮かびました。

小田原評定衆

阪上 順夫

小田原評定衆からのメッセージ

阪上順夫さん(東京都在住、松阪大学教授)



阪上さんは、三重県にある松阪大学の教授です。地域社会の研究が専門で、小田原市で調査を行ったことがきっかけで、評定衆となりました。

「小田原は戦国の武將・蒲生氏町です。ともに歴史の遺産や人物も多く、交通の要衝であり、海や港もあります。また両市とも『松原牛』がまばらと、全国的な名産品があることから、数多くの共通点がある松阪市と小田原市の比較研究をしたらおもしろいのではないかと考え、松阪大学の学生と市民の方とともに、小田原市を訪れ調査、研究をしましたと阪上さん。

阪上さんは「地方都市活性化への政策研究」・松阪市と小田原市の比較研究」を研究論文の題として、研究で両市の比較をしながら、地方都市の活性化について提言を行っています。

現在、その中でまとめた構想が実現し、松阪市のまちづくりの拠点となる「まちの駅 寸咫」開設にいたり、まちの駅を運営する「松阪まちづくりセンター」の理事長にも就任なさっています。「北条早雲や二宮尊徳に興味があるんです。歴史を活かしたまちづくりは、全国でも先進的な手本になると思います。それに小田原市は、市民活動が盛んなまちで感じます。私も、小田原市に学びながら、まちづくりに取り組んでいます」と意欲的でありました。

さくばつてくる。



「武者隊だけなら御門広場から出発できる。朝した私の耳はふとこんな声を拾った。暗闇に「武者行列だけでやりましょう」と私。「多少の衣裳の濡れは何とかなるそうです。」「子供やお年寄りへの出陣要請には特に気を付けて下さい。」「あちこちに丁寧なお詫言とご理解を。」「無理をするのですからくれぐれも万全の注意を。」「時まさに七時二十分。二十分ものタイムアウトであった。武者隊と雨でもやると決断していた大した神輿行列だけの要請的かつ大幅縮小された『第二十七回祭り』はこうしてギリ「第二十七回祭り」の運びとなった。

平成九年より長い時間をかけて、多くの人々の知恵を集めてこの祭りの見直しを進めてきた成果が初めて表れる宮の新年初年の祭りであったが、中途半端で挙行政をせざるを得なかったことは無念至極であった。しかしNHK・BSの「千人の武者のトキの声」の大ききで世界記録へ挑戦する「イベント」の収録も無事終わったし、何よりも武者行列の最初から最後まで奇跡的に雨がフツと止んでくれたことは、雨中行軍を覚悟して苦渋の決断を共にした関係者にとつて最大の贈り物となった。

市の木・くろまつを守れ



このほど、松枯れ被害に頭を痛める片浦地区で、松林を未来に向かって残そうと植樹祭が行われました。当日は片浦の自治会・森林組合・漁協・農協や小中学校など約250人が地域ぐるみでくろまつ800本の植樹を行いました。この事業は県の2001年記念事業「千年樹(紀)植樹」の一環として県・市が苗木を提供したものです。●農政課 ☎33-1491

根府川に先祖代々住んでいる鈴木一家は親子3代で参加しました。「気持ちを含めて植えた苗木が孫といっしょに成長します。きつと今日のことは、いつまでも忘れないでしょう。幼いときの思い出は大切にしたいです。ね」と鈴木康一さん(森林組合員)。



「娘は、枯れていく松を見ながら「元氣な仲間にも病気がうつっちゃうのかな」と小さい心を痛めています」。妹のさらちゃん2歳を抱きながら、「こころちゃんの優しさに目を細める母親の敦子さん」。「海岸で貝や松ぼっくりを拾うのが大好き。きれいな海ときれいな緑の中で、いつまでも遊びたいな」とこころちゃん(片浦小、3年)。



北条軍団1,000人が10万人に挑戦!!

北條五代祭りで世界記録達成!?



志気を盛り上げる城下町大使の阿藤海さん(俳優)



5月3日の北條五代祭り帰陣式にて、武者行列参加者1,000人が大声の世界記録に挑戦しました。めざした記録は1998年7月、ロンドンのハイドパークで作られた126・3デシベル。この記録はコンサート会場で10万人が絶叫したものです。●広報広聴室 ☎331261

団の意気込みを見せられ、城下町大使の阿藤海さん(俳優)が志気を盛り上げ、場内に緊張した空気が流れます。気合い一発、阿藤さんの先導の声に併せて、武者1,000人が「エイ・エイ・オー!」と腹の底から関の声を絞り出します。耳の鼓膜が破れんばかりの雄叫びが城内に響きわたるも結果は「118・3デシベル」。「無念でござる!」すばらしい記録ながらも、世界記録には一歩及びませんでした。なお、この模様は次のとおりテレビ放映されます。

- 番組名 熱血!ふるさと対抗「千人の力」コンテスト
- 放送日 6月24日(日)
- 放送局 19時20分・21時25分 NHK BS2/BSハイレゾ

「早く遊びたいよ」名付け親の須谷 星斗君



おさるぼりんの前でお嬢さんとお島田早苗さん(右)



「早く遊びたいよ」名付け親の須谷 星斗君

「びっくりしました。うちの子が何気なく言ったことなんです。須谷星斗君に「お嬢の形をしたトランポリンなのよ」と説明したときに口にした名前をお母さんが覚えていて応募したところ採用となりました。同じ名前でもう一人。島田早苗さんは「小さなこども達でも呼びやすく、心弾ませるような名前がいいな」と思っていました。自分でも気に入った名前になったと話していました。」

ばくらんどの開園1周年記念式典に花を添えました。わんぱくらんどは、計画当初の入園予想者数を大幅に上回る方が訪れ、ちびっこたちの人気スポットになっています。このおさるぼりん、式典の後は会場にいたくさんのひっこが中に入り込んで、元気いっぱいねわっていました。わんぱくらんどでの設置はゴールデンウィークまで、今後は、市内各地のいろいろなお祭りなどに

多数の応募ありがとうございました。ふわふわトランポリンの名前が「おさるぼりん」に決まりました。

公園緑地課 ☎331583

わんぱくらんど1周年 ボクの名前は



おさるぼりん

雨の日だってレッツ・スポーツ！ アリーナの個人利用にゴー！

うっとうしい梅雨の季節。運動不足にならないよう小田原アリーナで心も身体もリフレッシュさせましょう。気軽に少人数でもスポーツできる個人利用はいかが？

小田原アリーナ ☎38-1144



利用方法はこれだ

利用券を購入し、事務室で受付。個人利用のできる種目は、バスケットボール(ワンゴールのみ)、バドミントン、卓球。ゴールやコートはセットしてありますので、コートが空いていればすぐに利用できます。但し、ボールなどの器具類、体育館履き足は貸し出ししてないので、必ずお持ち下さい(裸足は利用不可)。

休日にはスポーツ大会、イベントなどのため利用できない日がありますが、月に1〜2日土曜日から日曜日に個人利用する方のためにスペースを確保しています(有料)。メインアリーナ2階のランニングコースは、受付だけで無料で利用できます。

私たちも利用しています

「今日はスポーツ会館が休みだったので、いつもの仲間とアリーナに来ました。いつも心地よい汗を流しています。個人利用は料金も安く、当日受付がうれしいですね」と笑顔で話す小田原ママさんバドミントンクラブの鳥居美沙子さん(曾比)。



「近所の仲間と毎週水曜日に楽しくやっています。休憩時間にはラウンジで果物やお菓子を持ち寄って卓球談義に花が咲きます。まだまだ、みんな初心者ですが、試合に出たらとっても楽しかったです。勝てるようになれば、なお楽しいでしょうね(笑)」とラケットで素振りしながら池田ひろ子さん(久野)。



なお、6月〜7月上旬は次のイベントが行われますので、アリーナにご連絡の上、お越しください。

6月2日(土)〜3日(日)	小田原矯正展(刑務所作業製品即売会)
6月9日(土)〜10日(日)	関東6人制実業団バレーボール大会
6月14日(木)〜17日(日)	きものやまと美装会
6月22日(金)〜24日(日)	日京クリエイト展示即売会
6月23日(土)	新日本プロレス小田原大会※
6月24日(日)	婦人バレーボール大会
7月7日(土)〜8日(日)	全日本フットサル大会
7月8日(日)	アルシオン女子プロレス小田原大会

※SKY Perfect TV スポーツ・アイ-ESPNにてテレビ中継決定

利用方法

1回の利用は2時間
料金 大人(高校生以上) 300円、小人(中学生以下) 100円。お得な回数券(10回利用の料金で11枚入り)あり。



日本を良くしよう 扇千景大臣 に要望

【国県道対策課】 ☎331529

このほど、扇千景大臣（国土交通省大臣）に小澤市長が西湘バイパスの再延伸について要望しました。
「小田原から熱海・伊東などへの道路は渋滞が激しい。現在、県や日本道路公団で延伸事業について取り組んでいただいているが、なかなか事業化の見通しがつかない。国道1号の小田原箱根道路と同様に国土交通省の直轄事業として、1日も早く事業化するように取り組んでいただけないか」と熱く要望する小澤市長。

「この場所の交通渋滞は十分承知しています。この渋滞により観光客も減少し、近年、熱海・伊東方面の旅館業などにも影響があります。さっそく神奈川県・日本道路公団・国土交通省で研究会を設置することを検討しましょう」と扇大臣。東京・静岡・山梨などを結ぶ交流の拠点として、小田原はますます注目されています。



国土交通省大臣控室にて小田原市長と扇千景大臣との懇談の様子。

日本が認めた高い評価

平成12年全国広報コンクール

広報おだわら2席！
ホームページ入選！

【広報広聴室】 ☎331261

お陰様で、全国広報コンクールで小田原市の広報おだわらとホームページが高い評価を受けることができました。
広報紙の部（市部）では、昨年の佳作を上回る2席に入選。これは、平成8年度の2席に並ぶ過去最高の評価となりました。
今年から新設されたホームページ部門では、みごと入選。3月にリニューアルしたものが評価されました。



受賞日は平成12年11月1日号
「特集・教育を語ろう」

「教育改革論議が活発化しているときだけにこの企画はタイムリーである。特にパート2の「私はこう考える」が読ませる」との評価をいただきました。



小田原市ホームページ
http://www.city.odawara.kanagawa.jp/
「観光情報のみならず、利用者にまちの魅力を知ってもらおうとする姿勢や意気込みが感じられる。どのページも、利用者にやさしいでないかなという作りでも好感が持てる」との評価をいただきました。

大好評の1T講習、今後もぞくぞく開催します！

いよいよ始まった1T講習。6月の20講座（400人）には、なんと約2,000人のご応募がありました。でも大丈夫。中学校をはじめとした身近な会場で、今後もぞくぞく開催します。詳しいお知らせや日程

は「広報おだわら」（15日号）で毎回ご案内しますのでご覧ください。
【小田原市1T講習受付センター】
☎6622200（平日9時～16時）



小田原 彩時記

夢を熱く語り合う
若者たち

【市民交流課】 ☎331707



（左から）内藤陽子さん、松本彩さん、武嶋嘉道さん

5月13日田舎から国際交流ラウンジにてティンサロン「ときめき国際学校OBとトーク」が開かれました。オーストラリア・マンリ市との交流体験に基づいた3人の若者の熱いメッセージに、しきりにうなずく参加者たち。その後は、今年の応募者をはじめとする中・高校生たちが、自己思いを自由に語り合いました。
「私たちの海外での行動は、日本人会員のイメージとなつて世界に広がります。自覚と責任を持った行動が大切です」と松本彩さん。また、「外国人との交流を通して、自分が変わるチャンスをつくることができます。夢と希望を持つて自分を磨きましょう」と武嶋嘉道さん（候補）。

「ときめき国際学校は、幅広い世代の理解と協力によって成り立っています。私としては、この学校に参加して、日本語の先生たち、実際に外国に教えたという夢を持ち、実現に向けてがんばりたいというところだ」とOB会の会長である内藤陽子さん（マンリ）が結びました。

マンリ市の中・高校生が市内の家庭でホームステイしながら小田原のオーストラリア校生と交流する国内交流・オーストラリア校生と交流する海外交流・オーストラリア校生と交流する海外交流、壮大なスケールで行う「ときめき国際学校」はいよいよ6月10日からスタートします。

関東学院大学 小田原キャンパス 開設10周年

開設10周年を迎え、新学科を平成14年4月開設予定で認可申請中(5月21日現在)。今後も本市との交流事業のさらなる発展が期待されます。

市民交流課 ☎33-1703



「永住する場所を連れあふなら、小田原も絶対候補です。小田原城址公園に何回か行ったのですが、象の梅子に会ったことがないのが残念」と2年生の藤花衣さん。小田原は海がきれいですね。海は貴重です。出身地の群馬県から遊びにくる友達に、小田原城天守閣からの景色を見せてあげると、

関東学院大学小田原キャンパスは、1991年に小田原市街と相模湾を一望する狭帯の丘陵地に小田原市との公営協力方式という新しい方式により開設されました。本市との連携交流事業の中で特に平成4年度から始まった市民公開講座は、平成12年度末までの9年間で1,474名もの多くの方が受講しています。

また大学施設についても地域に開かれた大学をめざし、グラウンドや体育館などの体育施設だけでなく、図書館も学生以外の方も利用ができます。天気の良い日はキャンパス内を近くの方が散歩するすがたも見えます。

学生ばかりではなく、大学の先生にも、小田原市民公開講座、おだわらシルバード大学や市の各種委員会へも参加するなど市の政策にも協力いただいています。小田原キャンパス開設10周年の今年は、法政学科の新設申請もなされ、ますますの発展が期待されています。

皆感激します」と話すのは、同じゼミ2年生の小淵真澄さん。小淵さんは高校3年の受験のとき、芦ノ湖から箱根湯湖まで徒歩で下ったという健闘の持ち主。学生たちの間では、キャンパスの坂道を登校することは「登山」、下校することを「下山」と言っているそうです。2人とも自然環境に恵まれた小田原キャンパスはお気に入りの様子です。

ほかの学生も地域との交流が盛んで、小田原北條五代祭りやODA WARAE(おだわらえ)さほいおどりへ積極的に参加したり、市商店街連盟が実施しているクリスマスシーズンのサンタクロースの出演サービスに参加するなど多方面にわたって行っています。



藤花衣さん 小淵 真澄さん

小田原は、
いけてます。

小田原市史 通史編「近現代」 発刊

20世紀という激動の時代に、小田原ではいったいどんなドラマが展開されていたのだろうか。

図書館 ☎23-8510

A5判・1067頁 価格 6,000円



●編集にあたって
市史編さん委員・専門委員
中央大学名誉教授 金原 左門さん
今回、近現代の膨大な史料と格闘して通史編「近現代」ができました。特に明治時代の小田原について詳しく叙述したので多くの方に関心をもって読んでいただきたいと思っています。おそろしく、小田原が全国でもまれな活力に満ちた元気なまちであったことが感じ取ってもらえるはず。その時代に市制60周年を迎えた今日の小田原のまちづくりのヒントが隠れていると思います。歴史の奇みや道として、親しみやすいコラム30タイトルを設けたのでぜひ読んでください。



小田原の歴史を集成する市史編さん事業として、史料編全9巻と今回の小田原市史通史編「近現代」の発刊により、通史編3巻が出揃いました。
本巻は、1871年(廃藩置縣)から2000年(市制60周年記念行事)までを、500点を超える写真・図版を織り混ぜてまとめたものです。近代社会への大変革となった明治維新に始まり、関東大震災、戦争そして戦後復興と経済発展など「激動の世紀」のなかで小田原がどう変貌してきたのかを知ることができます。
お求め先 市内書店、小田原市公益事業協会本売店、行政情報センター(市役所4階)



もう一度考えてみませんか、 自分の健康！

健康づくりをサポートするために、今年からはじまる3つの事業を紹介します。
 ◎健康づくり課 ☎47-0820

募集

①あなたの生活を見直そう！

(高コレステロール血症編)

約8ヶ月間で保健婦や栄養士との個別の面接や定期的な血液検査を通して、一人一人の状況にあった生活習慣の改善方法と一緒に考えていきます。

参加できる方

以下の条件にすべて当てはまる方になります。

・平成12年度に基本健康診査やその他の健康診査を受けた結果、総コレステロール値が、220mg/dL以上240mg/dL未満だった方。ただし50歳以上の女性は220mg/dL以上260mg/dL未満の方。

※総コレステロール値が高いことで医療機関に通院している方は除く。ただし、通院していても、薬を飲んでおらず医師の許可があれば参加は可能です。

・年齢40歳から69歳の方

・これまでに以下の病気にかかったことのない方

脳血管疾患・心臓疾患・糖尿病・腎疾患・甲状腺疾患

・女性ホルモン補充療法をうけたことがない方

・全日程に参加意思のある本人に限ります。

日程・内容

7月～3月の間に7回の面接と4回の血液検査があります。

(費用は無料)詳細はお問い合わせ下さい。

場所 保健センター

申し込み方法 電話申込制(申込締切6月22日)

保健センター ☎47-0820

定員 20人

②こころの電話相談室 専用電話 ☎47-0055

精神的な悩みや不安、ストレスを抱えている中高年の方々を対象に、「こころの電話相談室」を開設します。

・相談担当者 臨床心理士2人

・実施日 6月18日から毎週月曜日

(祝日は休日の場合、振替日は設けません)

・時間 11:00～14:00

・相談方法 電話相談のみ 1件について概ね30分以内



③地域でつくるミニミニ健康デー

地域の乳幼児から老人までの幅広い年齢層の方が参加される健康祭などで、健康おだわら普及員が中心となって地域ごとにメニューを考え、体脂肪測定や骨密度測定などの気になる健康チェックを行います。

保健婦 戸井章子さん

「多くの方が、どうしたら健康でいられるのか気になっておられるようです。健康について、私たち保健婦がご相談に乗ります。今後でも限り地域に出て活動していきたいと思います」



最近になって食生活や生活習慣が、がんや脳卒中などの発病や進行に大きく関係することが、明らかになってきました。また、社会情勢の変化が激しく複雑なため、精神的ストレスによる心の問題もクローズアップされてきています。そこで、健康と生活習慣の結びつきや心の問題などを重視して、日々の暮らしの中での健康づくりをサポートする事業を推進していきます。



4月初めにお届けした「健康カレンダー」や、広報おだわらいふ(15日号)の「健康コーナー」では、さまざまなサービスの内容や乳幼児健康検査などの日程をお知らせしています。どんどんご利用ください。



4月22日(日)ついに念願の城山トンネルが開通しました。「この開通が、小田原発展の新たな起爆剤となることを願っています」と小澤市長がいさつ。続いて行われたテープカットでは、地元三の丸小学校の分部拓里さんも加わり、終始ごやかムードでした。大役を果たした拓里さんは「緊張はしませんでした」と満足げな笑顔。式典のあとでは、ボランティアの方によるミニコンサートの音楽をバックに、皆思い思いに夢のタイムトンネルに入っていました。

夢のタイムトンネル いよいよ開通



小田原
彩時記

障害があっても社会と係わらせてあげたい。そんな思いから設立された障害者地域作業所。私もみんなと楽しく働きたい!! そんな気持ちを広報レポーターが取材しました。

◎障害福祉課 ☎33-1467



障害者地域作業所

障害者の 社会参加を考える

Report



広報レポーター
田代 朝美さん(浜町)

シヨパン、ドビュッシー、ユーミンなど、
静かに流れるBGM

「こころでは彼らは黙々と、ときには笑い合いながら、自分の受け持ちの作業を進めていた。車椅子の人もしれば、手の不自由な人もいる。傍らに敷かれた布団では、一生懸命リハビリをしている人もいます。車椅子で、手にも障害がある人は、指導員が途中まで切った牛乳パックを手が動く範囲でちぎる。また、右手に障害のある人は、木ギレと右手でシールを押さえ、左手で貼る。この作業のおかげで、右手はずいぶん動くようになったと言う。その向い側では、車椅子を使っている人が介助なしで袋を破いている。このように彼らの作業はその障害の程度によって、リハビリを兼ねて続けられている。

こころは市内の障害者地域作業所。現在、養護学校を卒業した若者から、70歳までの肢体不自由者が、通っている。障害者の社会参加を目的に、「父母の会」が母体となり、昭和58年に発足した。

「私自身、父母の会のOBなのですよ」。所長の高橋直美さんは、不幸にして、障害をもつお子さんを亡くされた。それ以来、障害者の社会参加に力を尽くされて、障害者を持つ家族の良き相談相手としても、活動されている。彼らが楽しみながら活動できるように、いろいろな情報網を張っているという。

「こころに来てから、みんな、表情が生き生きとしてきて、言葉が表なかつた人まで話そうになってきたのです。彼らの心からの純粋な笑顔を見るのが私の喜びです」と高橋さんは、目を細めて話す。「自身の辛い体験を乗り越えての強さと真のやさしさに強く心を打たれた。人の心がどんどん、荒んでいくように思える現在だからこそ、純粋無垢な心にふられたことがうれしかった。

たとえば、さまざまなバザーに、牛乳パックの再生紙で作った名刺、刺し子やステンシルのふきんなどを出品したり、地域の小学生などのふれあいの場を持つたりなど、財源確保や地域の人々の好意で、作品を買っていただいたり、声をかけてくださったりしていると、うれしそうに話す。

ときには、作業を休んで外に出ることも、彼らにとって、よい刺激になる。カラオケ、ボーリング、旅行にも出かけるという。また、先生を招いても水虫歯を治すたりしている。

所長の高橋 直美さん



伊助は、一高の学生時代に、ヨハンナ・スピリ作の『バイシ』を読んだ。(略)

病身な富裕な家の少女を、アルプスの山小屋へ連れて来て、新しい夏の夜、空の星を眺め、作られたチーズやパンを食べるその山の暮しに、伊助も憧れたのである。

今、そこに自分はいる。

旅人ではなく、伊助自身、山の住人になりたい思いが募るのだった。

この環境を、ふるさとの小田原に、せめて植物なりとも定着させたい、その為の山歩きなのである。

(略)

小田原の町に、のどかな売出しの旗がひらめいていた。

「昔は」の家の前で車は停った。

門口に、母が立っている。

手を振っている。

伊助は、車から飛び下りるとまっすぐ母の前に行き、両手を振った。

小さい手だ。

「だいま、いろいろと」「待ってましたよ、ローザさんを早くうちへ入れてあげて」

(略)

ローザは日課のように二人の幼い子供達を連れて農園の内外を散歩する。

賑やかな町中に散歩の足をのびすこもある。土地の人にも顔見知りが増えて、知った顔に行き合ったりすると、丁寧な挨拶にローザも落ち着いた笑顔の挨拶を返した。

(略)

帰国の船の中で、伊助とローザはこれからの日本での生活について語り合った。

既に八幡山の農園は国鉄の手に渡って、熱海線の小田原駅が開設されている。

この機会に、もっと涼しい山のなかに土地を求めて、新しい家を作って、農園を造ろうと伊助は計画を語り、ローザはそれを喜んだ。



「忘我の記」

中里 恒子 文春文庫

この作品は、著者中里恒子が、辻村伊助の著書『スウィス日記』と出会ったことから書き始められました。著者がいかに伊助の一面な生涯に惹きつけられたかが、題名からもうかがうことができます。

辻村伊助は、明治19年(1886)に小田原きつての資産家辻村基八の次男として生まれました。

一高在学中に山岳会に入会し、日本アルプスのほとんどを踏破するなど、日本山岳会の草創期に足跡を残しています。

伊助は、園芸の研究とヨーロッパ・アルプス登山を目的に、大正2年(1913)に渡欧し、諸国を巡って、スイスのユングフラウ(標高4,158m)、メンヒ(標高4,105m)を登頂し、その後グロース・シュレックホルン(標高4,080m)の登頂に成功しました。

しかし、その下山中に雪崩に遭い九死に一生を得ました。療養中に、看護婦のローザ・カレンと出会い、結婚して帰国します。

帰国後、小田原で辻村農園を兄常助とともに経営するかわらヨーロッパ原産の高山植物の栽培と研究に没頭しました。

大正10年(1921)、スイスから帰国した伊助とローザは、箱根湯本に新居を構え「辻村高山園」を開いて栽培と研究をさらに進めようとした。

しかし、大正12年(1923)、関東大震災による土砂崩れのため一家全員が不帰の人となりました。

小田原市では、辻村克良氏のご協力のおかげで、辻村農園の一部を整備し、平成2年6月に「辻村植物公園」としてオープンしました。

いま、辻村植物公園を散策し、ホントノスキの並木やユカリ、ヨーロッパバラマツなど異国情緒豊かな植物をながめていると、往時の辻村家の営為が、そして伊助とローザが見た夢が垣間見えるような気がしてきます。



このコーナーでは、映画・絵画・写真・小説・詩などの作品・登場人物の小田原を紹介しています。小田原が扱われている作品を、おぼえていたら、市立図書館でぜひお読みください。

輝く小田原人

南方熊楠賞受賞

ダニを愛した男 青木 淳一さん

県立生命の星・地球博物館館長

青木さんは、約40年をササラダニの研究に捧げ、現在日本で知られる660種のうち、320種を発見し命名した。そして、今年度は、あの南方熊楠賞を受賞した。

「いや〜あ！受賞して、改めてこの南方熊楠賞の重さを実感しました。すごい賞をいただきちゃったという感じです。連日押し寄せるお祝いのメッセージとパーティーの招待にうれしい悲鳴ですね」と青木さん。日本を代表する研究者であり、横浜国立大学名誉教授の顔からは、想像できないような気さくな喜びの言葉がこぼれます。

「東大農学部の学生時代には『ダニの研究が日本の農業にどう役立つの』と教授に笑われました。でも現在は、ダニが環境診断の指標生物として脚光を浴びはじめています。ダニは環境を忠実に表現す

る生物です」と青木さん。

「普段の研究は、地味な作業です。現地へ行って腐りかけた落ち葉を袋に詰めて持ち帰り、研究所でダニ分離器にかけて顕微鏡でのぞき込む。でもね、形がおもしろいんですよ。本当におもしろいんです。森のこびとのかわいらしさにびっくりって感じですかね」と眼が輝いた。

「地球博物館ではぜひ本物に触れてください。本物には感動があります。そして感動は子供にも夢を与えます。蛇取り・熱帯魚・テニス・料理など、趣味も忙しいんですが、小田原でも新種のダニを発見したいですね」とこう結びました。



受賞歴：1968年日本動物学会論文賞、1980年日本土壌動物学会賞、1986年日本動物学会賞、1990年山内賞



南方熊楠賞

生物学者であり、日本民俗学の創始者の一人である南方熊楠氏を顕彰し、国内外を問わず人文部門・自然科学部門から顕著な功績のあった方が、交互に選考される。日本を代表する名譽ある表彰である。

主催：田辺市・南方熊楠邸保存顕彰会

Odawara Cooking

小田原 ほのぼの クッキング!!

豊かな自然に囲まれた小田原ゆかりの素材や季節感あふれる料理を、地域の料理サークルが「故郷の味」として紹介するコーナーです。

梅干し・しらたきスープ

●材料(5人分)

- しらたき1袋、梅干し5個、だし汁(昆布・しいたけ)1ℓ、三つ葉はお好みの量で(青みとしてゆでたインゲンやキヌサヤでもよい)。

●作り方

- ①しらたきは洗って塩でもみ、塩ゆでして食べやすい長さに切る。
- ②三つ葉はざくざく切る。
- ③しらたき・梅干し・三つ葉をお椀に形よく盛り、熱いだし汁を静かに注ぐ。
- ④食べるときには、梅干しをつぶして、自然な酸っぱさを出し、いただく。



右上が「梅干し・しらたきスープ」

私たちが作りました!

あやまの会の会アドバイザー 和田 佐和子さん(城山)



あやまの会の会は、毎月1回中央公民館で活動。体と心を喜ばせる穀物・根菜類中心の料理教室を開いています。「私たちの料理教室は旬の食材を使って、発想豊かに素材そのもののおいしさを生かす工夫がかけられています。今回の料理は、簡単で、そして油の消化を助ける酸味がとってもすてきな料理です。興味ある方はぜひ、一度教室に遊びに来てください」

●久津間 ☎34-0324

心におみやげ、
見つけて小田原。

今年はいいぞ！

酒匂川・早川 アユ解禁！

期間

6月1日～10月14日
12月1日～12月31日

太公望のみなさん。お待ちせしました。
全国のアユ処、酒匂川・早川で6月1
日にアユ漁が解禁しました。酒匂川90
万尾、早川30万尾を放流しましたが、
今年は数・型ともに良好です。

さあ、出かけましょう。あの川の香り、
あの竿の感触があなたを待っています。

御水産海浜課 ☎229227

酒匂川釣り場

天然アユ遡上あり

年間遊漁証	10,000円
年間中学生遊漁証	2,500円
日釣券(売店)	1,000円
日釣券(現場)	1,400円

酒匂川漁業協同組合 ☎37-4277



早川釣り場

年間遊漁証	8,500円
日釣券(売店)	900円
日釣券(現場)	1,300円

早川河川漁業協同組合 ☎34-6882



酒匂川漁業協同組合長
名坂四良さん



山北・松田・小田原が合併
してきたこの組合も総勢
2,300人となり、創立50年
を迎えることができました。
天候から、酒匂川のコケの発育も良く、そのため今年はい型型の
アユが多く見られます。ふるさと酒匂川ですくすく育ったアユと
の、熱いバトルをどうぞお楽しみください。



早川河川漁業協同組合長
萩谷克己さん



早川はチンチン釣り(毛針釣
り)ができることが魅力です。
やさしいので子供でも楽し
みながら数を釣ることがで
きます。今年は天然アユの遡上が好調で、10年で一番魚影が濃
いです。昨年は、解禁日だけで700尾も釣り上げた人もいました。
どうぞ、早川でアユ釣りの醍醐味をご堪能ください。